

就農コーチの指導等により、技術習得から就農・定着までを総合的にサポート 杵築市ファーマーズスクール（大分県）

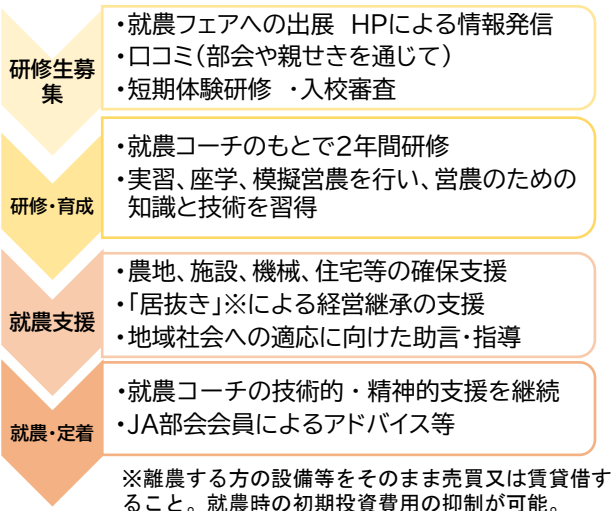
【ファーマーズスクールの概要】

- 所在地：大分県杵築市
- 研修品目：いちご、ハウスみかん等11品目
- 研修人数：3組以内/年（原則2名1組）
- 研修要件：夫婦等1組2名。
1組のうちどちらかが、概ね50歳以下であること、
研修終了後、杵築市内で就農すること等
- 研修内容：実習、模擬営農、座学（1年以上2年以内）
- 研修ほ場：就農コーチ（県指導農業士、市長が認めた認定農業者等）の栽培ほ場
- 取組の背景：杵築市は、農家数や1戸当たりの産出額の大幅な減少等を踏まえ、地域農業の担い手を確保するため、平成26年からファーマーズスクールを開設。新規就農者育成のための知識、指導力、研修に必要な施設等を備える就農コーチの指導による技術習得と関係者が連携して就農・定着までサポートする体制を確立。
- ホームページ：<https://nourinsui-start.oita.jp/training/item12/>

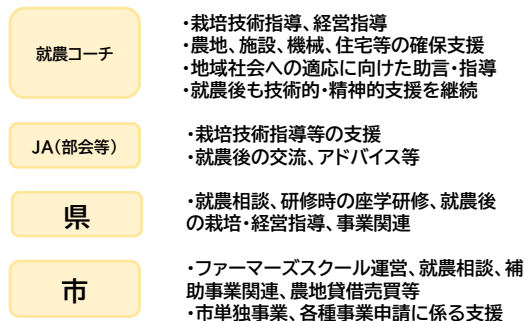


研修の様子（就農コーチ生産ほ場）

新規就農までの流れ



サポート体制



ファーマーズスクールでの研修



ほ場巡回研修



生産物審査研修

研修期間(2年間)

1年目

■ 実地栽培研修等

- ・就農コーチの指導を受けながらの実地栽培研修、病害虫防除講習等
- ・就農地の協議等（「居抜き」による就農を推奨）

2年目

■ 模擬経営研修、就農準備等

- ・就農コーチのほ場において、就農後の独立自営を想定した「模擬経営」を行う。
- ・就農準備（農地の確保やハウス・機械の導入、青年等就農計画作成等）

研修カリキュラムにJAの部会活動（研修会、ほ場巡回、生産物審査等）への参加を組み込み、他の就農コーチのほ場を見たり、生産物の違いなどを知ることができ、知識と技術の向上を図ることが可能。

成果・実績

- ・ファーマーズスクール開設以降、32名が入校。令和7年1月現在、研修中6名、26名が就農。
- ・「いちご」は、栽培面積と販売額が増加し、生産者の平均年齢が、64歳（H26）から57歳（R4）と大きく若返った。「ハウスみかん」等も同様の成果が出ており、生産現場が活気づいている。
- ・セカンドキャリア、シニア世代の就農相談が増加しており、今後更なる新規就農者の発掘に向けて取組を進めることとしている。

